個人の市場価値の向上と生涯成長を支える

NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.15

2021 年 05 月

□ 岡村の最近の注目ニュース　□ ビジネス予備校近況リポート　□ B-EAT 会活動報告　□ What's up?

2021/05

いつ始めても
遅すぎることはない。

自身の言動はすべて、自ら意識して選択した結果である

いま世の中で起きている事象を見ると、
日本人がどれだけ他人任せに生きてしまっているか？をあらためて思い知らされます。
ワクチン接種率の低さ！日本のコロナ対応の拙さが露呈してしまいました。
政治家も官僚も、そして我々ひとり一人も、この現象を前に、いかに自らの言動に説明をつけるのでしょうか？

できなかったことが真の問題なのだろうか？

できていないと分かりながらやらなかったことが、問題（の本質）なのではないか。

毎年この時期になると、私が社会人になって最初の上司の言葉をよく思い出します。無我夢中で初年度を終え、“一年間の反省と今期行動宣言”を書かされた時のことです。あれもできなかった、これもできなかったと問題点を羅列し、今期は頑張る！と気合を込めた宣言を提出しました。ところが、上司から「できなかったことが真の問題なのだろうか？」**「この振り返りで、今年は本当に頑張れるようになるのだろうか？」**と問われたのです。続けて、「できていないと分かりながらやらなかったことが、問題（の本質）なのではないか？」と静かに詰められショックを受けました。ワープロもない時代に手書きした１０枚のレポートを、**目の前でびりっと破かれ**、書き直しを命じられた瞬間が、いまも記憶に刻まれています。

それからは、「できなかった」という安易な振り返りは自分の思考から消えました。遊びたい、のんびりしたいなどという気持ちも含めて、自分が無意識のうちに「他の何を優先したか？」を明確に考えるようになったのです。**“自身の言動はすべて、自ら意識して選択した結果である”**と考えれば、**「自分でどうにかしよう！」**という気持ちになります。私が若いころ米国に突然転勤になって、異文化への順応に苦しみながらも米国流自己責任主義に惹かれていったのは、入社時に受けた“曖昧さを許さぬ指導”がベースにあったと振り返ります。

いま世の中で起きている事象を見ると、日本人がどれだけ他人任せに生きてしまっているか？をあらためて思い知らされます。
ワクチン接種率の低さ！日本のコロナ対応の拙さが露呈してしまいました。政治家も官僚もこの現象を前に、いかに自らの言動に説明をつけるのでしょうか？「できなかった」ことが問題なのではなく、途中からおそらくできない状態をわかっていながら「やらなかった」意識、意思はいかなるものなのか？**そして私たちも同じ穴のムジナではないのでしょうか。**

旧弊でがんじがらめになった日本がマクロから変わるのは本当に難しい。自分にできるのは、個々人に働きかけること、そう思って２０１３年人財育成に着手しました。「自分でどうにかしよう！」という気持ちが広がれば、**努力した個人は成長を手にし、いつか日本にも真の変革が生まれることでしょう。**

本日寄稿くださった柴田知栄さんは、生保営業日本一連続１８年間の記録を持つ営業職員であり、ＥＡＴビジネス予備校東京校一期卒業生です。直近では「365 人の仕事の教科書」（致知出版）で、稲盛和夫氏、王貞治氏他と並んで仕事と向き合う姿勢が紹介されています。**日本の良さを取り戻すために、まずは自分が行動しよう！という熱い思いを持った大切な仲間の一人**です。

注）この隔月ニュースの内容をさらに充実させ、発信していきたいです。メールアドレス等の変更は総務企画までお知らせくださいね！

（EAT 代表　岡村 進）

寄稿

心温まる『ほんわか社会』の実現を目指して

第一生命保険株式会社
新宿総合支社
営業調査役
柴田　知栄　氏

「『心温まる気持ち』になる時、私は一番幸せなのだと気づきました。」

今から約3年前、自分の仕事を振り返る機会に恵まれました。今までの営業一本槍から、それに加えて社内向け研修をすることになったのです。それまで、ただひたすらに保険の営業をして、営業成績日本一になることに集中してきた私が、初めて自分自身の人生と仕事にじっくり向き合いました。

生きてきた中で何が嬉しくて、何が悲しかったのか？幸せを感じる瞬間はどんなことだったのか、大切に思うことは何なのか。

人と関わり合う中で「心温まる気持ち」になる時、私は一番幸せなのだと気づきました。

それはお客さまや周囲の人々に関わるさまざまな出来事や、子供の頃の記憶でした。新しい挑戦をする人を自分のネットワークを駆使してサポート出来たこと、小さな頃から知っている子供の成長を見れること、ずっと上手くいかなかった事業が何とか軌道に乗り始めたこと、祖母や母が台所に立っている光景や匂い等々、**全て人に関わることです**。これを守ること、そういう気持ちになれる社会を作っていくこと。そのことに自分の時間を使いたいと思いました。

そして「心温まる『ほんわか社会』の実現を目指す！」という**自分自身の目標を掲げ、その事一心に時間を使おう！と決めました。**

でも、これを実現するのはそう簡単ではありません。**「ほんわか」を実現するためには、根っこのところで相手との信頼関係が必要**だからです。信頼は一朝一夕に培われるものでなく、起きる出来事一つ一つの積み重ねからしか築けない。だから、日常が大事なのです。実は私の職業はそれにうってつけと考えています。お客さまと私たちの関係は、その契約が始まった時から始まり、それこそ生涯付き合っていくのがその本来の姿だからです。**ところで皆さん、多くなったと思いませんか？**

街にゴミの落ちていること、歩いていて人にぶつかっても謝りもせず通り過ぎて行く人、人がイライラしていること。これらはコロナの影響ばかりではないのです。この状況は、社会にとって良くない黄色信号が点滅している状態だと思います。

人が人に優しくない。そう思う瞬間が増えている。私はこうした状況を変えていきたい。**人は自分が優しくされれば、誰かに優しくしようという気になる。**

そんな連鎖になっていくと信じているのです。人は何のために生きるのでしょうか？人それぞれとはいえ、**とどのつまりは幸せになるため**だと思います。

最近は「心温まる『ほんわか社会』の実現」という目標をあちこちで声に出すようにしました。

すると驚いたことに、一人二人と「これ、ほんわかだね」と自分の体験を話してくれる人が出て来たのです。そして、先日はこんな法則を教えてもらいました。「1人がゴミを拾うと13人が同じくゴミを拾うようになるのよ」。

今後は仲間を作っていこうと思います。私は妄想しています。日本中のあちこちで「ほんわかの花」が色とりどりに咲くことを。**皆さん、私のお仲間になりませんか？**

そして「**ほんわかの花**」をそこかしこで一緒に咲かせてみませんか？

B-EAT　ビジネス予備校の OB/OG による地域を超えた繋がり

〝Slack〟を使ったプラットフォーム構築を模索

この度、B-EAT 内のコミュニケーションツールとして〝Slack〟を活用することになりました。登録後は各種イベントのご案内、EAT ニュースなどがメールではなく、〝Slack〟に一本化されて提供されます。つきましては〝Slack〟説明会のご案内を東京 6 期幹事からメールにて配信済です。ご確認のほどよろしくお願いいたします。

※文筆　㈱人財アジア　清古康之

What's up?

丸山　美鈴
MISUZU MARUYAMA
EAT ビジネス予備校
東京クラス（6 期生）
西濃シェンカー株式会社
営業本部

皆様こんにちは。B-EAT 東京 6 期幹事に就任しました丸山美鈴です。8 名の副幹事さんと共に、コロナ禍でのオンライン中心の学びを活かし、皆様の縦横のつながりづくりに微力ながらご協力できればと考えております。
私と EAT とをつなげてくださった 5 期幹事の木野村さんは業務が超絶忙しく。。今年の活動は、4 期 5 期の先輩のお助けを頂きながら 6 期生中心で行うこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします！

EAT 株式会社人財アジア
〒100-0005 東京都 千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー本館 20 階
［TEL］03-6300-6460　［Mail］info@eat-star.asia

特別寄稿および What' s up?　に掲載して下さる方を募集しています。ご希望の方は事務局までお問合わせのほど、お願い致します。